

小・中学校の取り組み例

コミュニケーション活動は、学校やブロックによってさまざまですが、ここではその一例を紹介します。

小学校～中学校をつなぐ取り組み例 ～中学校の先輩に、夢宣言を手紙で伝えよう～

中学校進学を控えた小学6年生が、英語で中学校生活についての意気込みを手紙に書き、中学校の先輩に送りました。それを読んだ先輩は、英語で返事を書きました。

習った英語を使って手紙が書けた!

中学の先輩が質問に答えてくれてうれしい!

小学6年生

中学校で待ってるよ!

やり取りした手紙

手紙を書いている子どもたち

英語で思いを伝え合う活動を通じて、小学6年生は「中学校へ行くのが楽しみ!」と中学校生活への期待を高めることができました。

中学校での取り組み例 ～アメリカの大学生とインターネットでやり取りしよう!～

中学3年生がアメリカの大学生とインターネット会議システムを使ってやり取りを行いました。ALT（英語指導助手）の出身大学で日本語を学ぶ学生と中学生が画面越しに交流しました。

アメリカの学生からは「桑名って日本のどのあたりにあるの?」などの質問が出され、生徒たちはその場で考えて答えていました。また、中学生からも聞きたいことを質問するなど、英語での交流を楽しんでいました。

「楽しかった!」「伝わってうれしい!」「相手の言っていることが分かった!」など、生徒たちは英語に対する自信を深めていました。



学校で学んだ英語を使って表現する機会 ～桑名子ども英語コンテスト～

昨年、11月14日第3回「桑名子ども英語コンテスト」を開催しました。

小学5・6年生27人、中学2・3年生12人が、ペアやグループを組み、桑名っ子として自慢したいことを英語で発表しました。オリジナルの台本を考え、どうすれば観客の皆さんに内容が伝わるか工夫し、楽しみながら作り上げていきました。



コンテストを経験して
もっと英語を話せるよ
うになりたいと思った!



英語を使って、友達と協力して観る人に伝わりやすい表現を工夫し、体全体を使ってパフォーマンスする姿からは、コミュニケーションへの意欲と力の高まりが感じられました。

小学生の活動では、例文を参考にして自分の夢や気持ちを書いていましたが、中学生の交流では、事前に準備していないことも、その場で考えて伝え合えるようになっていて、どんどん成長していることが分かります。これからも、子どもの成長段階に合った活動に繰り返しチャレンジすることを通じて、コミュニケーション力を育てていきます。

小中一貫教育で 次世代に生きる確かな力を育てます!

～グローバル社会で通用するコミュニケーション力の育成～

問 学校支援課 (☎ 24-1240 FAX 24-1358)

社会のグローバル化が進み、今後、経済・文化など社会のあらゆる分野で多様な人々と協働する力がますます重要となります。

市では、義務教育9年間を通して、これから生きる子どもたちに必要なさまざまな力を育てています。その中でも英語教育においては「グローバル社会で通用するコミュニケーション力」を身につけられるよう、「桑名市英語教育プラン」を示しています。本プランでは、発達段階に応じてめざす姿と授業で扱う具体的な活動内容を示しています。

「桑名市英語教育プラン」の活動内容

小学校・低学年 聞く・話す・楽しむ

英語の歌やゲームを通して、英語での簡単なあいさつや身近な単語に慣れ親しみます。

小学校・中学年 コミュニケーションの素地づくり

身近で簡単なことについて、英語で聞いたり、話したりします。また、英語DVD教材を活用し、歌や短い物語などを見たり、聞いたりして、英語の音と文字に慣れ親しみます。

小学校・高学年 コミュニケーションの基礎づくり

自分のことや身の回りのことについて、英語で聞いたり、話したりします。また、「読む」「書く」活動にも少しずつ挑戦します。

中学校 英語で表現し、伝え合う力を身につける

日常的な話題や社会的な話題について「読む」「聞く」「話す」「書く」活動を通して、理解したり、表現したり、伝え合ったりする力を身につけます。

～ For a Bright Future ! 飛び立て、くわなっ子～

小・中学校の9年間をつないで子どもたちの「学び」や「育ち」をつくります

～小学校低学年から英語に触れる機会を持ち、

発達段階に合わせて英語への理解を深めていきます～

ALT（英語指導助手）が学校を訪問し、子どもたちが英語に触れる機会をつくっています!

授業以外でも
ALTの先生と
話せて楽しい!



ALTの先生が
話していること
が分かった!